







さなる杯小学生将棋名人戦準優勝 市立南小学校6年生

白石 智也さん (津山口) 日本将棋連盟が主催し、全国から3 千人以上の小学生棋士が参加する「第

45回さなる杯小学生将棋名人戦」で、 岡山県予選、西日本大会を勝ち抜き、 7月26日の決勝大会に出場。準優勝の 成績を収めた。かつて羽生善治九段や 渡辺明三冠が優勝した大会で、県内で は岡山市出身の菅井竜也八段の準優勝 以来、16年ぶり2人目の快挙。



▲最年少でタイトルを獲得した美作アマ将棋 竜王戦の感想戦(平成31年2月)



▲将棋教室で指導者と対局する白石さん

あなたに見せたから、

思い残す

ことはないと詠んでいます。

自分の良い所も悪い所もすべて 間際に最愛の人に向けた句で、 もみじ」。良寛の俳句です。

裏を見せ 表を見せて

月末まで、

津山市民の人は、津

ことに思いを馳せますか? (三) 城の紅葉の下、皆さんはどんな 山城の入場料が無料です。



将棋を始めたきっかけは?

6歳の時、保育園で友達とはさみ将棋をしたのがきっかけ です。とても楽しくて、家でもしたくなり、その年のクリス マスプレゼントにもらった将棋セットで、お父さんと対戦し ていました。公民館の文化祭などで本将棋を体験して、もっ と習ってみたいと思い、小学校に入学する直前の3月から将 棋教室に通い始めました。

普段の練習方法は?

一番多いのはインターネット上での対局で、宿題が終わっ た後、毎日2~3時間、全国のいろいろな人と対局していま す。また、同じ将棋教室の生徒同士で対局したり、指導者の 先生と対局してアドバイスを受けたりしています。コロナウ イルスが流行してからは行くことができていませんが、兵庫 県の道場にも通っています。

他にも、序盤を有利に進めるために定跡(*)を覚えたり、 先を読む力や集中力を身に着けるために詰め将棋をしたりし ています。

得意な戦法は、飛車を動かさない「居飛車」です。対局や 定跡の勉強をすることで、自分の知らない手がまだまだある ことが分かるので、面白いです。

今後の目標は?

将来は、竜王などの将棋の八大タイトルを取ることができ るような、強いプロ棋士になるのが夢です。

8月に、プロ棋士を養成する「奨励会」の入会試験に合格 し、10月から昇格のための対局が始まりました。6級から 始まり、4段に昇格することでプロ棋士になれます。全国か ら強い人が集まる中で、決められた数以上勝たないと昇格で きないので、これからもたくさん練習して、もっと強くなれ るように頑張ります。

*将棋の序盤で、最も良いとされている一連の決まった指し方

いしくいただき、 った牛たちは、人懐っこくてか るのですから。 取材に出ようと思います。 てくれた命の恵みに感謝してお てきました。だからこそ、 わいく、生産者の皆さんに大切 材した牛を、 に育てられていることが伝わっ 回の特集は悩みました。 わたしたちは食べ 撮影させてもら 明日も笑顔で 与え 1

「観る将」 を踏み出そうと思います。 好きな棋士の対局を見て楽しむ 滕井聡太二冠の活躍の影響で、 わいてきました。漫画や映画、 後ろから見ているうちに興味が 教室を訪ねました。将棋を指し たことはありませんが、対局を 今月の津山人の取材で、 わたしも、 が増えているそうで 観る将への一歩

